

第8号事業

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-1-(1)	
事業名	新宿歴史博物館の運営 (1)施設の管理運営			担 当 課	学芸課
				変更内容	-
目 的	新宿区の歴史・文化の継承及び普及・啓発を通じて、区民の教養の向上及び文化の発展に寄与する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	5,092	5,092	0	部	経常増減の部
自主財源	1,364	1,359	5	大科目	事業費
区指定管理料	89,961	87,783	2,178	種別	指定管理事業
経常収益計	96,417	94,234	2,183	(単位:千円)	
事業費	73,825	71,627	2,198		
人件費	22,592	22,607	△ 15		
経常費用計	96,417	94,234	2,183		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 開館日数 332日(予定)
- (2) 開館時間 9時30分～17時30分(入館17時まで)
- (3) 休館日 第2・4月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始、教育委員会が必要と認める臨時休館日、指定管理者が必要と認める場合で、教育委員会の了承を得た臨時の休館日。重要収蔵庫燻蒸実施年のため12月25日～27日まで臨時休館予定(3日間)。

(4) 各施設別計画値

(単位:人)

常設展示室	企画展示室	閲覧室	講堂	その他	合計
18,000	22,000	1,500	14,500	4,000	60,000

- (5) 「クールシェア」を平成25年度に引き続き実施。7～8月の期間中2週間程度施設を開放し、地域全体での節電と利用者の増加を図る。

2 成果指標

入館者数/60,000人(平成24年度実績:48,381人)

3 実施上の課題

- (1) 様々な手法での情報発信機能を強化し、さらなる利用者数の増加に努める
- (2) 収蔵庫の収容力が限界にきており、資料の受入れに影響が出ているため、新たな収蔵場所の確保が必要となっている。
- (3) 開館から23年以上経過した常設展示室のリニューアル等の改装を検討する。

4 顧客満足度の向上方策

「クールシェア」を実施。7～8月の期間中2週間程度施設を開放し、地域全体での節電と利用者の増加を図る。

5 実績

年度	入館者数(人)	有料入館者数(人)	観覧料収入(円)	講堂利用料収入(円)
平成24年度	48,381	11,668	2,935,250	810,000
平成23年度	44,948	11,677	2,892,300	930,000
平成22年度	45,180	15,674	4,248,600	526,000

6 対前年度予算増減説明

- (1) 隔年で実施している全館燻蒸の完了による委託費の減
- (2) 実績精査による光熱水費の増

根拠法令	博物館法・新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成18年度
------	--------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-1-(2)	
事業名	新宿歴史博物館の運営 (2)指定管理事業			担当課	学芸課
				変更内容	-
目 的	新宿歴史博物館の管理運営を通じて施設を有効活用した各種事業を展開し、魅力的で親しまれる博物館づくりを推進する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計・収益事業等会計
事業収益	4,030	4,440	△ 410	部	経常増減の部
自主財源	△ 1,512	△ 1,359	△ 153	大科目	事業費
区指定管理料	0	0	0	種別	指定管理事業
経常収益計	2,518	3,081	△ 563	(単位:千円)	
事業費	2,518	3,081	△ 563		
人件費	0	0	0		
経常費用計	2,518	3,081	△ 563		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 博物館友の会…各種講座等の事業時に積極的なPRを行い、会員登録者を増やすとともに、友の会限定事業(バスツアー等)を実施する。会報の発行 年6回。
- (2) 博物館ミュージアムショップ…HP等での刊行物やグッズの案内をさらに充実させ、販売を促進する。
- (3) 中庭活用事業…中庭を有効活用するため、地域の活動団体と協働でお茶会を開催する。
- (4) ガーデニングクラブ…年間を通して、植込や手入れ作業を実施する。
- (5) れきはくギャラリー・常設展特設コーナー展示替え…特設コーナー展示替えを、年4回実施。れきはくギャラリーは、特別展等に関連した展示を行う。
- (6) ミュージアムツアー…財団主催企画展開催期間の土曜日13:00から担当学芸員によるギャラリートークを実施。
- (7) レガスまつりの実施

2 成果指標

友の会会員数/平成25年度比105%(平成24年度:会員数469人)

3 実施上の課題

- (1) 施設のPRとあわせて実施する事業の周知を図ることにより来館者及び参加者等の増加を推進する。
- (2) 施設を有効活用し、特性を生かした事業を実施し、区民に身近で親しまれる施設として一層のイメージアップを図る。

4 顧客満足度の向上方策

財団広報紙やホームページ等の広報媒体を活用し、事業内容を紹介するとともに、新たな参加者の獲得を図る。

5 実績

年度	友の会会員数(人)	ミュージアムショップ売上(円)	その他
平成24年度	469	3,577,558	れきはくギャラリー、ミュージアムツアー、ガーデニングクラブ、中庭活用事業の実施
平成23年度	425	3,559,549	れきはくギャラリー、ミュージアムツアー、ガーデニングクラブ、中庭活用事業の実施
平成22年度	348	523,305	

6 対前年度予算増減説明

友の会リーフレット、他印刷物作成減による印刷製本費の減

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成15年度
------	--------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-2
事業名	林芙美子記念館の管理運営			担 当 課	学芸課
				変更内容	事業統合
目 的	1.林芙美子の業績の顕彰と歴史的建造物の保存を通して、区民の教養の向上及び文化の発展に寄与する。 2.施設の適切な管理・運営を行うこととともに、施設を活用した事業を実施し魅力づくりを推進する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,488	1,662	△ 174	部	経常増減の部
自主財源	654	0	654	大科目	事業費
区指定管理料	14,749	15,328	△ 579	種別	指定管理事業
経常収益計	16,891	16,990	△ 99	(単位:千円)	
事業費	9,928	10,141	△ 213		
人件費	6,963	6,849	114		
経常費用計	16,891	16,990	△ 99		

事業の計画

1 実施内容(予定)

「林芙美子記念館の運営(1)施設の管理運営」と「林芙美子記念館の運営(2)指定管理事業」を統合

- (1) 開館日数:307日(予定)
- (2) 開館時間:10時～16時30分(入館16時まで)
- (3) 休館日:月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始、教育委員会が必要と認める臨時の休館日
指定管理者が必要と認める場合で、教育委員会の承認を得た臨時の休館日
- (4) 建物内部公開:年5日実施(林芙美子忌(6月)3日、記念館開館記念日(3月)2日)
- (5) 休館日開放:写生や写真撮影ができる日として開放する。
- (6) 展示替え:年4回実施
- (7) ガーデニングクラブ:植替え、手入れ作業

2 成果指標

入館者数/12,000人(平成24年度実績:11,354人)

3 実施上の課題

- (1) 様々な手法での情報発信機能を強化し、さらなる利用者数の増加に努める。
- (2) 落合地区文化施設等と連携した事業の充実を図る。

4 顧客満足度の向上方策

平成25年度に引き続き休館日開放を実施し、写生や写真撮影ができる日を設ける。

5 実績

年度	入館者数(人)	有料入館者数(人)	観覧料収入(円)	事業参加者数(人)	その他
平成24年度	11,354	9,672	1,239,770	545	アトリエ・石蔵ギャラリー展示替え、スタンプラリー実施
平成23年度	11,086	9,985	1,291,670	650	アトリエ・石蔵ギャラリー展示替え
平成22年度	10,441	9,400	1,306,380	312	アトリエ展示替え、落合文化資源ネットワーク事業の実施

6 対前年度予算増減説明

実績精査による委託費の減

根拠法令	博物館法、新宿区立林芙美子記念館条例	事業開始	平成18年度
------	--------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-3
事業名	佐伯祐三アトリエ記念館の管理運営			担当課	学芸課
				変更内容	-
目 的	1.アトリエの保存・公開を通じて佐伯祐三の業績を広く発信し、区民等の教養の向上及び文化の発展に寄与する。 2.施設の適切な管理・運営を行うこととともに、施設を活用した事業を実施し魅力づくりを推進する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区指定管理料	8,580	8,248	332	大科目	事業費
経常収益計	8,580	8,248	332	種別	指定管理事業
事業費	3,422	3,220	202	(単位:千円)	
人件費	5,158	5,028	130		
経常費用計	8,580	8,248	332		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 開館日数 307日(予定)
- (2) 開館時間 5月～9月:10時～16時30分
10月～4月:10時～16時
- (3) 休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
- (4) 観覧料 無料
- (5) ミニギャラリー展示替え 年4回実施

2 成果指標

入館者数/7,000人(平成24年度実績:5,369人)

3 実施上の課題

- (1) 積極的な周知活動を行うことで、施設としての知名度の向上、来館者の確保を図る。
- (2) 林芙美子記念館、中村彝アトリエ記念館、落合文化ネットと連携を図る。
- (3) 魅力ある展示を行う。

4 顧客満足度の向上方策

中村彝アトリエ記念館と連動しつつ、落合の文化拠点としての機能強化を図る。

5 実績

年度	入館者数(人)	ミニギャラリー展示替え内容
平成24年度	5,369	4月:思い出と未来への想い～落合の小学校に遺された芸術作品とゆかりの画家 5-8月:佐伯祐三と里見勝蔵 8-11月:佐伯米子と戦時下の女性画家たち 12月:「水彩とコラージュ」受講者による作品展示 1-3月:特別展開関連展示「中村彝アトリエ記念館整備・ワークショップ」報告
平成23年度	5,546	4-5月:新宿中村屋ゆかりの落合の文化人たち 6-7月:堀潔が描いた落合風景 所蔵資料展「堀潔が描いた新宿風景」関連展示 7-9月:人間・佐伯祐三PART1家族 9-12月:人間・佐伯祐三PART2友人 1-2月:平塚運①と落合の版画家関連パネル展示 落合の版画家 2-3月:思い出と未来への想い～落合の小学校に遺された芸術作品とゆかりの画家
平成22年度	9,307	4-7月:下落合描画ポイント、アトリエ写真等 7-9月:佐伯祐三の素描 10-12月:佐伯祐三と周辺の画家たち 1-3月:新宿中村屋ゆかりの落合の文化人たち

6 対前年度予算増減説明

実績に基づく消耗品費の増

根拠法令	新宿区立佐伯祐三アトリエ記念館条例	事業開始	平成22年度
------	-------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-4	
事業名	中村彝アトリエ記念館の管理運営			担 当 課	学芸課
				変更内容	-
目 的	1.アトリエの保存・公開を通じて中村彝の業績を広く発信し、区民等の教養の向上及び文化の発展に寄与する。 2.適切な管理・運営を行うこととともに、施設を活用した事業を実施し魅力づくりを推進する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会 計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区指定管理料	10,665	10,275	390	大科目	事業費
経常収益計	10,665	10,275	390	種別	指定管理事業
事業費	5,557	5,247	310	(単位:千円)	
人件費	5,108	5,028	80		
経常費用計	10,665	10,275	390		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 開館日数 307日(予定)
- (2) 開館時間 10時～16時30分(入館16時まで)
- (3) 休館日 月曜日(休日の場合はその翌日)、年末年始
- (4) 観覧料 無料
- (5) 展示替え 年4回

2 成果指標

入館者数/6,000人(平成24年度実績:1,398人(開館日数13日))

3 実施上の課題

- (1) 積極的な周知活動を行うことで、施設としての知名度の向上、入館者の確保を図る。
- (2) 林芙美子記念館、佐伯祐三アトリエ記念館、落合文化ネットと連携を図る。
- (3) 魅力ある展示を行う。

4 顧客満足度の向上方策

佐伯祐三アトリエ記念館と連動しつつ、落合の文化拠点としての機能強化を図る。

5 実績

平成24年度

入館者数 1,398人(開館日:平成25年3月17日 開館日数13日)

6 対前年度予算増減説明

実績に基づく光熱水費の増

根拠法令	新宿区中村彝アトリエ記念館条例	事業開始	平成24年度
------	-----------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-5-(1)	
事業名	新宿文化センターの管理運営 (1)施設の管理運営			担当課	文化交流課
				変更内容	事業拡充
目 的	新宿区から選任された指定管理者として、新宿区立新宿文化センターの効率的な運営および利用者サービスの向上を図り、在住者のみならず在勤者・在学者など多様な人々がさまざまな文化活動、学習機会を通じて交流を図ることができる施策を展開する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	216,741	218,856	△ 2,115	部	経常増減の部
自主財源	18,723	△ 2,872	21,595	大科目	事業費
区指定管理料	157,585	148,070	9,515	種別	指定管理事業
経常収益計	393,049	364,054	28,995	(単位:千円)	
事業費	337,080	308,000	29,080		
人件費	55,969	56,054	△ 85		
経常費用計	393,049	364,054	28,995		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 利用者のニーズに応じて、年末年始休館期間中の臨時開館を実施する。
- (2) 利用者の利便性向上を目的とした施設整備・サービス拡充を進め、利用層の新規開拓を行う。
- (3) 先進館の視察を積極的に行い、施設に関するサービスの充実度を拡充させる。
- (4) 開館以来使用してきた、コンサートピアノ1台を購入する(財団自主財源を投入)。

2 成果指標

全施設の平均稼働率/79.0%内、大ホールの平均稼働率75.0%
(平成24年度実績:全施設の平均稼働率69.7% 大ホールの平均稼働率74.7%)

3 実施上の課題

- (1) 文化芸術振興基本条例及び文化芸術懇談会「新宿文化センターに関わる提言」を実現する。
- (2) 多様な区民ニーズを把握し、利用層の拡大を図る。また、年末年始休館期間中の臨時開館等、利用者のニーズに応じて柔軟に対応する。
- (3) 指定管理者評価委員会による事業評価を向上させる。

4 顧客満足度の向上方策

- (1) 利用者のニーズに応じて、附帯設備等の館内インフラを整備する。
- (2) アマチュア音楽団体に対する、新たな優待制度の導入、各種割引制度の導入を検討する。

5 実績

	平均利用率(%)	平均稼働率(%)	大ホール稼働率(%)	入場者数合計(人)
平成24年度	89.50%	69.70%	74.70%	405,333人
平成23年度	86.60%	66.80%	78.20%	361,489人

※ 新宿文化センター減免利用件数/1,500件
(平成23年度実績:1,579件 【参考】減免額/59,410,684円)

6 対前年度予算増減説明

- (1) 経年劣化を原因とする修繕箇所増加による修繕費の増
- (2) コンサートピアノの購入に要する固定資産取得費の増

根拠法令	新宿区立新宿文化センター条例及び同条例施行規則	事業開始	平成18年度
------	-------------------------	------	--------

平成26年度事業計画

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-5-(2)	
事業名	新宿文化センターの運営 (2)指定管理事業			主管課	文化交流課
				変更内容	-
目 的	より多くの区民や団体に多様な文化芸術の鑑賞機会や活動への参加と協働の場を提供するとともに、「文化芸術創造のまち 新宿」のメッセージにふさわしい活動を展開し発信していく。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	17,736	17,736	0	部	経常増減の部
自主財源	15,697	16,233	△ 536	大科目	事業費
区指定管理料	9,783	8,233	1,550	種別	指定管理事業
経常収益計	43,216	42,202	1,014		
事業費	33,433	32,405	1,028		
人件費	9,783	9,797	△ 14		
経常費用計	43,216	42,202	1,014		

(単位:千円)

事業の計画

1 実施内容(予定)

公演名	公演予定日	会場
レガスまつり	4月5日(土)	全館
新宿春のジャズまつり	5月10日(土)	全館
沖縄音楽フェスティバル	7月26日(土)	大ホール
新宿ユースプラスフェスティバル	10月4日(土)	大ホール
新宿文化寄席	10月15日(水)	大ホール
国際都市新宿・踊りの祭典	11月8日(土)	全館
子どもの音楽会	12月6日(土)	大ホール
新春名作狂言の会	調整中	大ホール
ランチタイムコンサート	2ヶ月～3ヶ月に1回	大ホール
パイプオルガン活用事業	年度内4回	大ホール
落語 in 和室	毎月第3金曜日	和会議室
障がいがある子どものためのコンサート	調整中	調整中
区内在住演奏家等によるコンサート	調整中	小ホール

2 成果指標

入場者数/13,751人(24年度実績:16,994人)

3 実施上の課題

- (1)文化芸術振興基本条例及び「新宿区文化芸術の振興に関する懇談会」報告書の新宿文化センターに関わる提言をもとに事業を実施していく。
- (2)指定管理事業等の年間予定表を作成し、一層の事業PRを強化する。
- (3)多様化した区民ニーズに沿った満足度の高い公演を企画・実施する。

4 顧客満足度の向上方策

区民がより主体的に参加できる事業の実施方法(実行委員会形式等)を取り入れていく。

5 実績

平成24年度

公演名	公演日	会場	入場者数
レガスまつり	4月7日(土)	大ホール	1,480人
新宿春のジャズまつり	5月12日(土)	全館	2,402人
沖縄音楽フェスティバル	7月28日(土)	大ホール	1,181人
青少年プラスフェスティバル	10月6日(土)	大ホール	992人
新宿文化寄席	11月8日(木)	大ホール	899人
国際都市新宿・踊りの祭典	11月10日(土)	全館	3,040人
障がいのある子どものためのコンサート	12月2日(日)	展示室	62人
子どもの音楽会	12月9日(日)	大ホール	1,350人
新春名作狂言の会	1月31日(木)	大ホール	1,653人
Jazz Live2013(佐山雅弘ピアノ)	2月2日(土)	小ホール	154人
新春いろどり寄席	3月2日(土)	小ホール	105人
ランチタイムコンサート	6回実施	大ホール	1,549人
パイプオルガン活用事業(講座・コンサート)	3回実施	大ホール	696人
落語 in 和室	11回実施	和会議室	284人

6 対前年度予算増減説明

チケット販売システム導入に伴う使用料及び賃借料の増

根拠法令・規程	新宿区立新宿文化センター条例・新宿区文化芸術振興基本条例	事業開始	平成18年度
---------	------------------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-6-(1)	
事業名	プラネタリウムの運営(1)管理			担 当 課	学習・スポーツ課
				変更内容	-
目 的	プラネタリウム施設を利用して、天体や星々に関する知識の学習の場の提供と、区民への学習機会の提供を行う。平日に行う小・中学生を対象とした学習投影と、土・日・祝日に行う一般投影を行うことで、広く機会を提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	2,154	2,558	△ 404	大科目	事業費
経常収益計	2,154	2,558	△ 404	種別	受託事業
事業費	1,033	1,451	△ 418	(単位:千円)	
人件費	1,121	1,107	14		
経常費用計	2,154	2,558	△ 404		

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1) 一般投影

- ① 時期: 毎月原則3日 その他学校休業時期(おもに夏季)・都民の日
- ② 回数: 年間55日(165回)
- ③ 料金: 高校生以上300円 中学生以下無料
- ④ 内容: 季節ごとのプログラムによる一般投影

(2) 学習投影

- ① 時期: 原則平日の昼間
- ② 回数: 年間約140件
- ③ 内容: 学校の学習に合わせた投影と解説
- ④ 対象: 区立幼稚園、小学校、中学校、養護学校など

2 成果指標

一般投影利用者数/4,500人(平成24年度実績:4,420人)

3 実施上の課題

- (1) 一般投影利用者増加のためのPR方法の工夫と周知強化を図る。
- (2) 入場者受付方法の効率化を検討する。
- (3) 「子ども園」の受け入れなどに対応した観覧希望団体との円滑なスケジュール調整を図る。

4 顧客満足度の向上方策

来場者アンケートの実施により鑑賞者のニーズを把握し、教育委員会に報告、対応を協議する

5 実績

平成24年度

- ① 一般投影入場者数 165回 4,420人(24年4月～25年3月) うち団体利用・免除935人
- ② 学習投影利用者数 135回 6,835人(24年4月～25年3月)

平成23年度

- ① 一般投影入場者数 154回 3,524人(23年4月～24年3月) うち団体利用・免除140人
- ② 学習投影利用者数 143回 7,006人(23年4月～24年3月)

6 対前年度予算増減説明

学習投影用しおり作成の廃止による印刷製本費の減

根拠法令	新宿区立教育センター条例ならびに施行規則	事業開始	平成18年度
------	----------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-6-(2)	
事業名	プラネタリウムの運営 (2)活用			担当課	学習・スポーツ課
				変更内容	-
目 的	プラネタリウムを「芸術や文化に親しむ場」「大都会新宿の癒しの場」「新たな生涯学習活動の場」として活用するため、星空コンサート等のプログラムを実施する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業等会計
事業収益	1,106	2,252	△ 1,146	部	経常増減の部
自主財源	14	△ 261	275	大科目	事業費
区補助金	1,569	1,565	4	種別	自主事業
経常収益計	2,689	3,556	△ 867		
事業費	1,120	1,991	△ 871		
人件費	1,569	1,565	4		
経常費用計	2,689	3,556	△ 867	(単位:千円)	

事業の計画

1 実施内容(予定)						
プラネタリウムにおいて、一般投影とは異なった新たな形態のプラネタリウム活用事業として、以下の事業を実施する。						
(1) 星空コンサート	平成26年4月～平成27年3月 年6回実施 定員140人 参加費:一般(中学生以上) 1人1,500円					
(2) 星空イベント(未就学児向け)	星空おはなし会を実施予定 区民団体との連携により実施予定 定員140人 年2回 参加費:無料					
(3) 特別企画	関連部署やボランティアと連携した講座等のプログラムを実施 定員140人 年4回 参加費:一般(中学生以上)1人500円					
(4) プラネタリウムボランティアの活動	①各プログラム実施における運営補助(投影機器の操作・MC・シナリオ作り・受付補助等) ②機器操作や星空解説についての学習会、ボランティア企画の実施等					
2 成果指標						
延べ参加者数/1,000人 ※ボランティアの活動も含む(平成24年度実績:1,772人)						
3 実施上の課題						
(1)ボランティア等の区民参画による事業運営に向け、研修や実際の体験機会を増やす。						
(2)関連他部署・団体に出演団体紹介やプログラム企画への参画や協力を依頼し、内容の充実を図る。						
(3)区教育委員会と、プラネタリウム活用に関する定期的・継続的な協議を行う。						
(4)生涯学習・地域人材交流ネットワーク制度と連携し、登録者・登録団体の活用を図る。						
4 顧客満足度の向上方策						
来場者アンケートを実施し、コンサートや企画内容に関する来場者のニーズを把握し反映させた事業を企画する。						
5 実績						
プログラム	平成24年度			平成23年度		
	回数	延参加	登録	回数	延参加	登録
星空コンサート	11	993		5	413	
星空おはなし会	3	381		2	216	
そのほかの企画	3	315		0	0	
合計	17	1,689		7	629	
ボランティア参加人数		83	31		30	8
総合計		1,772			659	
6 対前年度予算増減説明						
星空コンサートの実施回数及び参加料見直しによる事業費の減						

根拠法令	社会教育法、文化芸術振興法、新宿区立教育センター条例	事業開始	平成18年度
------	----------------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-7-(1)
事業名	新宿コズミックスポーツセンターの運営 (1)施設の管理運営			担 当 課	施設課
				変更内容	事業拡充
目 的	生涯学習活動を実現させるため、新宿コズミックスポーツセンターの施設を提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	91,376	101,224	△ 9,848	部	経常増減の部
自主財源	15,000	0	15,000	大科目	事業費
区指定管理料	289,922	276,103	13,819	種別	指定管理事業
経常収益計	396,298	377,327	18,971	(単位:千円)	
事業費	284,215	265,404	18,811		
人件費	112,083	111,923	160		
経常費用計	396,298	377,327	18,971		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 開館日数 347日(予定)
- (2) 開館時間 9時～22時
- (3) 休館日 第2月曜日(祝日にあたる場合はその翌日)、年末年始、特別保守点検日
- (4) 施設 大小体育室、大小会議室、プール、多目的室、弓道場、第一武道場、第二武道場、幼児体育室、多目的広場
- (5) スポーツ団体、文化系団体、生涯学習団体に施設を貸し出し、広く生涯学習活動を支援する。
- (6) 早朝プール営業の実施(8月1日～31日、8時より個人開放)
- (7) 2階照明のLED化(財団自主財源を投入)

2 成果指標

- (1) 延べ利用者数/576,000人(平成24年度実績:576,416人)
- (2) 稼働率/77.6%(平成24年度実績:81.4%)

3 実施上の課題

- (1) 稼働率の低い施設の稼働率を向上させる。
- (2) 経年劣化対策と利用者が安全安心に利用できる施設を実現する。
- (3) 文化系団体が活動しやすい設備を充実させる(譜面台、プロジェクタ等)。

4 顧客満足度の向上方策

利用者アンケートを実施して、利用者の要望・満足度を調査する。

5 実績

- (1) 平成24年度 延べ利用者数576,416人、稼働率81.4%
- (2) 平成23年度24年度比較

①延べ利用者数

23年度	24年度	差(24-23)	前年度比	24年成果指標	同比
460,424	576,416	115,992	125.19%	572,000	100.77%

②稼働率

23年度	24年度	前年度比	24年成果指標	同比
77.9%	81.4%	+3.5ポイント	76.8%	+4.6ポイント

6 対前年度予算増減説明

- (1) 自動販売機サービスの提供、リラクゼーション提供サービス、スポーツ用品販売、貸しロッカー、卓球台貸しの5項目を指定管理事業へ移管したことによる事業収益の減
- (2) 2階照明のLED化による修繕費の増

根拠法令	新宿コズミックスポーツセンター条例、同施行規則	事業開始	平成18年度
------	-------------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-7-(2)
事業名	新宿コズミックスポーツセンターの運営 (2)指定管理事業			担 当 課	施設課
				変更内容	-
目 的	区民の生涯健康で充実した人生への寄与のために、事業を実施する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	34,445	24,890	9,555	部	経常増減の部
区指定管理料	△ 24,471	△ 15,981	△ 8,490	大科目	事業費
経常収益計	9,974	8,909	1,065	種別	指定管理事業
事業費	7,225	6,173	1,052	(単位:千円)	
人件費	2,749	2,736	13		
経常費用計	9,974	8,909	1,065		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 団体等と連携したスポーツ等普及事業:卓球、バドミントン、バレーボール、ハンディキャップスイムデー
- (2) レガスまつり:平成26年4月5日(土)
- (3) ロビーコンサート:年間9回実施 参加希望者による不定期コンサート:年間随時実施
- (4) ポイントラリー:プールの個人利用事業
- (5) ガーデニングクラブによる施設装飾
- (6) 障がい者スポーツデー:通年実施(プール週2回、屋内種目週1回)
- (7) 自動販売機サービスの提供
- (8) リラクゼーション提供サービス(マッサージチェア)
- (9) スポーツ用品販売(プール用ゴーグル、キャップ、タオル、卓球玉)
- (10) 貸しロッカー
- (11) 卓球台貸し

2 成果指標

利用者前年比増

3 実施上の課題

- (1) レガスまつりの周知方法の改善と団体との連携強化を図る。
- (2) ロビーコンサートの定着と財団事業宣伝方法を検討する。
- (3) ポイントラリーの新規客層を開拓する。
- (4) 貸しロッカーの宣伝方法の検討と実績の向上を図る。

4 顧客満足度の向上方策

- (1) アンケート方法の改善を図る。
- (2) 顧客との対話・コミュニケーションの充実を図る。

5 実績

平成24年度

- (1) スポーツ教室6種目、4,757人、売上合計1,989,100円(平成23年度6種目、3,401人、1,551,000円)
- (2) 82団体、7,900人参加(23年度は東日本大震災の影響により中止)
- (3) 12回、919人参加(23年度は11回、724人参加)
- (4) 75,248人参加、売上合計22,370,300円(平成23年度58,866人、16,990,300円)
- (5) 毎月実施(23年度毎月実施)
- (6) ハンディキャップスイムデー20回、764人参加(平成23年度18回、474人参加)
障がい者スポーツデー プール80回、1,306人参加(平成23年度73回、1,003人参加)
体育館45回、534人参加(平成23年度73回、799人)

6 対前年度予算増減説明

自動販売機サービスの提供、リラクゼーション提供サービス、スポーツ用品販売、貸しロッカー、卓球台貸しの5項目を施設管理から移管したことによる事業収益の増

根拠法令	社会教育法、スポーツ基本法、生涯学習基本法、新宿コズミックスポーツセンター条例 新宿歴史博物館条例、生涯学習館条例、林芙美子記念館条例	事業開始	平成12年度
------	--	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-8-(1)	
事業名	大久保スポーツプラザの運営 (1)施設の管理運営			主管課	施設課
				変更内容	-
目 的	指定管理者として、大久保スポーツプラザの効率的運営、利用者サービスの向上を図る。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	19,022	19,312	△ 290	部	経常増減の部
区指定管理料	22,118	20,698	1,420	大科目	事業費
経常収益計	41,140	40,010	1,130	種別	指定管理事業
事業費	29,772	28,609	1,163	(単位:千円)	
人件費	11,368	11,401	△ 33		
経常費用計	41,140	40,010	1,130		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 開館日数 347日(予定)
- (2) 開館時間 9時~22時
- (3) 休館日 第3月曜日(祝日にあたる場合はその翌日)、年末年始、特別保守点検日
- (4) 施設 多目的ホール、集会室、和室、児童遊戯室、テニスコート2面

2 成果指標

- (1) 延べ利用者数/平成25年度の屋内実績の102%+同年度テニス実績(平成24年度実績:79,777人)
- (2) 稼働率/多目的ホール 93.0%(平成24年度実績:88.4%)
 集会室 85.0%(平成24年度実績:87.7%)
 和室 54.0%(平成24年度実績:54.5%)
 児童遊戯室 0.9%(平成24年度実績:2.9%)
 テニスコート 97.0%(平成24年度実績:95.3%)

3 実施上の課題

- (1) 稼働率の低い和室や児童遊戯室の特色をいかした活用方法を検討する。
- (2) 設備等の経年劣化の修繕と利用環境の整備に対応する。
- (3) 生涯学習機能を高めるため、財団事業や団体連携・協働事業の開催を促進する。

4 顧客満足度の向上方策

- (1) 利用者アンケートを実施して、利用者の要望・満足度を調査する。
- (2) 設備修繕と利用環境の整備を図る。

5 実績

- (1) 平成24年度 延べ利用者数 79,777人
 稼働率 多目的ホール 88.4%
 集会室 87.7%
 和室 54.5%
 児童遊戯室 2.9%
 テニスコート 95.3%

- (2) 平成23・24年度比較

①延べ利用者数

23年度	24年度	差(24-23)	前年度比	成果指標	同比
74,000	79,777	5,777	107.8%	74,857	106.6%

②稼働率

	23年度	24年度	前年度比	成果指標	同比
多目的ホール	92.7%	88.4%	-4.3ポイント	93.0%	-4.6ポイント
集会室	86.0%	87.7%	+1.7ポイント	83.0%	+4.7ポイント
和室	46.9%	54.5%	+7.6ポイント	51.0%	+3.5ポイント
児童遊戯室	2.0%	2.9%	+0.9ポイント	0.7%	+2.2ポイント
テニスコート	95.2%	95.3%	+15.1ポイント	97.0%	-1.7ポイント

6 対前年度予算増減説明

- (1) 廃棄物処理量増による委託費の増
- (2) リラクゼーション提供サービス、自動販売機の設置を指定管理事業へ移管したことによる事業収益の減

根拠法令	新宿区立大久保スポーツプラザ条例	事業開始	平成18年度
------	------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-8-(2)	
事業名	大久保スポーツプラザの運営 (2)指定管理事業			主管課	施設課
				変更内容	-
目 的	指定管理者として、大久保スポーツプラザの利用者サービスの向上を図る。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	578	252	326	部	経常増減の部
区指定管理料	268	687	△ 419	大科目	事業費
経常収益計	846	939	△ 93	種別	指定管理事業
事業費	846	939	△ 93	(単位:千円)	
人件費	0	0	0		
経常費用計	846	939	△ 93		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 落語の講演(事業名「落語 in 和室」)を定期に実施する。
- (2) レガスガーデニングボランティアの活動の場として提供し、来館者の目にとまるような施設の装飾を行う。
- (3) 利用者の利便性を高めるため、飲料水の自動販売機を設置する。
- (4) マッサージチェアの設置により、リラクゼーションサービスを提供する。

2 成果指標

- (1) 落語 in 和室 参加者数/540人(平成24年度実績:460人)
- (2) マッサージチェア 利用回数/600回(平成24年度実績:478回)

3 実施上の課題

- (1) 集客を増やすために、施設や事業の周知方法を工夫する。
- (2) 来場者の定着を図るために、その対策を検討する。

4 顧客満足度の向上方策

- (1) アンケートを実施し、利用者のニーズを調査する。
- (2) リラクゼーションコーナーの充実を図る。
- (3) 増えてきた卓球利用者への対応のため、卓球個人開放日の実施を検討する。

5 実績

- (1) 落語 in 和室
平成23年度 (平成23年5月～平成24年2月、全11回) 223人
平成24年度 (平成24年4月～平成25年3月、全16回) 460人
- (2) レガスガーデニングボランティアによるロビーの緑化。
- (3) マッサージチェア
平成23年度 利用回数 381回
平成24年度 利用回数 478回

6 対前年度予算増減説明

- (1) リラクゼーション提供サービス、自動販売機の設置を(1)施設の管理運営から移管したことによる事業収益の増
- (2) 実績精査によるレガスガーデニングクラブの消耗品費の減

根拠法令	社会教育法、スポーツ基本法、生涯学習振興法 大久保スポーツプラザ条例	事業開始	平成18年度
------	---------------------------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-9-(1)	
事業名	公園内運動施設の運営 (1)施設の管理運営			担当課	施設課
				変更内容	-
目 的	生涯学習活動を実現させるため、公園内運動施設を提供する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	26,120	25,350	770	部	経常増減の部
自主財源	0	0	0	大科目	事業費
区指定管理料	30,446	31,240	△ 794	種別	指定管理事業
経常収益計	56,566	56,590	△ 24	(単位:千円)	
事業費	26,320	25,596	724		
人件費	30,246	30,994	△ 748		
経常費用計	56,566	56,590	△ 24		

事業の計画

1 実施内容(予定)					
(1) 西戸山公園野球場:野球、ソフトボール、サッカー等					
(2) 落合中央公園野球場、庭球場:野球、ソフトボール、サッカー、テニス等					
(3) 西落合公園少年野球場、庭球場:小学生野球、小学生ソフトボール、女性ソフトボール、テニス					
(4) 甘泉園公園庭球場:テニス					
(5) 妙正寺川公園運動広場:小学生野球、小学生ソフトボール、サッカー					
2 成果指標					
(1) 延べ利用者数/150,000人(平成24年度実績:144,341人)					
(2) 稼働率76.0% ※雨天中止除く(平成24年度実績:80.1%)					
3 実施上の課題					
(1) 低稼働率区分の利用率を向上するために、利用種目の変更等を検討する。					
(2) 安全面の向上のため、設備の利用方法について利用者への説明を徹底する。					
(3) 早朝・ナイター利用時の騒音対策を検討する。					
4 顧客満足度の向上方策					
(1) 利用者アンケートをもとに、利用者の要望を把握し改善を行う。					
(2) 施設修繕に迅速に対応する。					
5 実績					
平成24年度					
(1) 延べ利用人数:144,341人 稼働率80.1%(雨天中止除く)					
(2) 平成23・24年度比較					
①延べ利用者数					
23年度	24年度	差(24-23)	前年度比	成果指標	同比
127,787	144,341	16,554	113.0%	135,000	106.9%
②稼働率					
23年度	24年度	前年度比	成果指標	同比	
79.4%	80.1%	+0.7ポイント	76.0%	+4.1ポイント	
6 対前年度予算増減説明					
(1) 冬季時間延長による施設利用料収入の増					
(2) 自動販売機事業の移管による事業収益の減					
(3) 施設老朽化による設備修繕費の増					
(4) 電気料金の実績精査による光熱水費の減					
根拠法令	新宿区立公園における運動施設の管理及び運営に関する条例、新宿区立公園における運動施設の管理及び運営に関する条例施行規則、新宿区立妙正寺川公園条例、新宿区立妙正寺川公園条例施行規則、新宿区立公園条例			事業開始	平成18年度

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-9-(2)	
事業名	公園内運動施設の運営 (2)指定管理事業			担当課	施設課
				変更内容	-
目 的	区民の生涯健康で充実した人生に寄与するために、事業を実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,115	15	1,100	部	経常増減の部
自主財源	0	0	0	大科目	事業費
区指定管理料	△ 700	219	△ 919	種別	指定管理事業
経常収益計	415	234	181	(単位:千円)	
事業費	415	234	181		
人件費	0	0	0		
経常費用計	415	234	181		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 利用者に対して自動販売機による飲料の提供をする。
- (2) 区内の民間企業及び新宿区体育協会と連携し、施設の特徴を活かした地域住民向けのイベントを実施する。

2 成果指標

- (1) イベント参加者数/100人(平成24年度実績:40人)
- (2) イベント回数/年2回以上(平成24年度実績:1回。雨天のため1回中止)

3 実施上の課題

- (1) 飲料販売について、季節ごとに商品の入れ替え対応を検討する。
- (2) 地域の方が参加したいと思うイベントの調査・実施を検討する。
- (3) イベントで施設利用することについて、利用者の理解を得る。
- (4) イベントの効率的・効果的な告知方法を検討する。

4 顧客満足度の向上方策

- (1) アンケート調査により利用者の要望を把握する。
- (2) 内容の充実を図り、親子が共同作業で参加できるイベントを企画する。

5 実績

平成24年度

親子イベント

- (1) 「西落合グラウンドキャンプ」9月23日雨天中止
- (2) 「西落合グラウンドキャンプ」3月3日実施、参加者/40人

6 対前年度予算増減説明

自動販売機事業の移管による事業収益および光熱水費の増

根拠法令	新宿区立公園における運動施設の管理及び運営に関する条例、 新宿区立公園における運動施設の管理及び運営に関する条例施行規則	事業開始	平成18年度
------	---	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-9-(3)	
事業名	公園内運動施設の運営 (3)四村橋協公衆便所扉開閉等委託			担 当 課	施設課
				変更内容	-
目 的	西落合公園少年野球場・庭球場に隣接するトイレを管理し、利用環境の向上を図る。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	470	500	△ 30	大科目	事業費
経常収益計	470	500	△ 30	種別	受託事業
事業費	55	159	△ 104	(単位:千円)	
人件費	415	341	74		
経常費用計	470	500	△ 30		

事業の計画

1	実施内容(予定) (1) 西落合公園少年野球場・庭球場の利用時間外について、「だれでもトイレ」の施錠を行う。 (2) 夜間でも不足しないように、トイレトーパーの補充を行う。		
2	成果指標 -		
3	実施上の課題 (1) 夜間にトイレトーパーを切らさないように補充する。 (2) トイレトーパーの盗難対策を検討する。 (3) 住所不定者の施設内での居座りに対する対応を検討する。		
4	顧客満足度の向上方策 みどり公園課と連携をして、綺麗で使い易い環境を維持する。		
5	実績 平成24年度 トイレトーパー補充 月平均23個(年間280個÷12ヶ月)		
6	対前年度予算増減説明 単価見直しによる消耗品費の減		
根拠法令	新宿区立公園条例	事業開始	平成23年度

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-10
事業名	運動広場の管理運営			担 当 課	施設課
				変更内容	-
目 的	運動広場の利用の促進を図り、屋外スポーツの振興に資するとともに、利用上、設備上の環境改善を行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	8,142	8,674	△ 532	大科目	事業費
経常収益計	8,142	8,674	△ 532	種別	受託事業
事業費	4,647	4,495	152	(単位:千円)	
人件費	3,495	4,179	△ 684		
経常費用計	8,142	8,674	△ 532		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 運動広場各施設の特徴を考慮した管理、運営を行う。
- (2) 利用者の要望を反映させた施設改善を実施する。
- (3) 運動広場利用団体等を対象とした利用者懇談会を開催する。
- (4) ここ・から広場でワンポイント指導を実施する。
- (5) ここ・から広場で利用者アンケートを実施して、利用者の要望・満足度を調査する。

2 成果指標

延べ利用者数/56,000人(平成24年度実績:85,115人)

※戸山多目的運動広場の団体への開放区分が3,422区分から1,725区分に縮小することに伴う減

3 実施上の課題

- (1) 戸山多目的運動広場の運用方法について、都及び区との調整を行う。
- (2) 戸山多目的運動広場の周辺環境改善のため、都及び区との調整を行う。
- (3) 各広場の備付設備(管理棟、トイレ、水道等)の適正な維持管理を行う。
- (4) 戸山多目的運動広場の早朝・夜間の防犯対策を検討する。
- (5) ここ・から広場において、利用者が多い平日自由開放枠の安全管理を徹底する。
- (6) ここ・から広場において、場外にボールが出ないようにする運用上の工夫をする。

4 顧客満足度の向上方策

利用者団体との情報共有を密に行い、要望を施設運営に反映させる。

5 実績

平成24年度

(1) 利用者数:85,115人 稼働率70.0%(雨天中止含む、参考値)

(2) 平成23・24年度比較

延べ利用者数

平成23年度	平成24年度	差(24-23)	前年度比	成果指標	同比
81,544	85,115	3,571	104.4%	82,790	102.8%

(3) 施設名:戸山多目的運動広場、新宿ここ・から広場、北新宿多目的広場、上智大学真田堀運動場、旧淀橋中学校(大智学園)運動広場

6 対前年度予算増減説明

実績に基づく消耗品費の増

根拠法令	新宿区立北新宿公園[多目的広場]の管理運営に関する要綱、真田堀埋立地(上智学院運動場)の都民使用覚書、戸山公園(箱根山)多目的広場運営要綱、大智学園高等学校グラウンドの使用に関する協定・新宿区旧淀橋中学校多目的運動広場事業実施要綱、新宿ここ・から広場生涯学習・スポーツ活動等事業用地の使用に関する規則	事業開始	昭和58年度
------	--	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-11
事業名	区内都立高等学校との連携事業 (施設開放等)			担当課	施設課
				変更内容	-
目 的	区民がスポーツ活動及び生涯学習活動を実践する場や機会の拡充を図るために、都立高校の施設開放事業を実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	431	557	△ 126	部	経常増減の部
区補助金	8,089	8,057	32	大科目	事業費
経常収益計	8,520	8,614	△ 94	種別	補助事業
事業費	8,325	8,417	△ 92	(単位:千円)	
人件費	195	197	△ 2		
経常費用計	8,520	8,614	△ 94		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 都立新宿山吹高等学校プール開放を下記のとおり実施する。
 - ① 期間 平成26年4月から平成27年3月 ※学校授業、行事、部活動で使用しない時間帯
 - ② 費用 高校生以上…登録料2,000円(10月以降1,000円)、保険料1,600円
中学生以下…登録料500円(10月以降200円)、保険料600円
- (2) 都立新宿山吹高等学校施設開放を下記のとおり実施する。
 - ① 期間 平成26年4月から平成27年3月 ※学校授業、行事、部活動で使用しない時間帯
 - ② 内容 大体育室及び小体育室、ルーフグラウンド、クラブハウスの開放
- (3) 都立戸山高等学校施設開放を下記のとおり実施する。
 - ① 期間 平成26年4月から平成27年3月 ※学校授業、行事、部活動で使用しない時間帯
 - ② 内容 テニス、サッカーの開放
- (4) 利用者アンケートを実施して、利用者の要望・満足度を調査する。

2 成果指標

延べ利用者数/12,500人(平成24年度実績:11,668人)

3 実施上の課題

- (1) 都立新宿山吹高等学校プール開放について、実績に応じて開放日数の検討を行う。
- (2) 都立高校との連携方法の見直しを行う。

4 顧客満足度の向上方策

利用者アンケートにより、利用者の要望を把握し改善を検討する。

5 実績

平成24年度

- (1) 延べ利用者数:11,668人

- (2) 平成23・24年度比較

延べ利用者数

平成23年度	平成24年度	差(24-23)	前年度比	成果指標	同比
4,489	11,668	7,179	259.9%	14,000	83.3%

6 対前年度予算増減説明

プール開放時間の縮小による委託費の減

根拠法令	都立新宿山吹高等学校体育施設開放事業に関する確認書、クラブハウス使用許可実施要綱、プール使用要綱、都立戸山高等学校体育施設の夜間開放に関する確認書	事業開始	平成20年度
------	---	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-12-(1)	
事業名	生涯学習館の運営 (1)施設の管理運営			担当課	学習・スポーツ課
				変更内容	-
目 的	地域の生涯学習活動の拠点施設として生涯学習活動を支援するため、生涯学習館を運営する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	19,068	16,551	2,517	部	経常増減の部
自主財源	0	5,600	△ 5,600	大科目	事業費
区指定管理料	125,200	130,180	△ 4,980	種別	指定管理事業
経常収益計	144,268	152,331	△ 8,063	(単位:千円)	
事業費	54,279	56,456	△ 2,177		
人件費	89,989	95,875	△ 5,886		
経常費用計	144,268	152,331	△ 8,063		

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1)新宿区立生涯学習館5館の運営 概要下表のとおり 開館時間:9時~22時

館名	開設年月	所在地	延床面積	貸出施設数	休館日	併設施設
赤城生涯学習館	昭和38.11	赤城元町1-3	694㎡	6	毎月第2月曜日、年末年始	なし
戸山生涯学習館	昭和55.4	戸山2-11-101	1,315㎡	8	毎月第4月曜日、年末年始	戸山図書館
北新宿生涯学習館	昭和57.4	北新宿3-20-2	868㎡	6	毎月第4月曜日、年末年始	北新宿第二児童館・ことぶき館、北新宿図書館、北新宿こども園
住吉町生涯学習館	昭和62.4	住吉町13-3	693.7㎡	4	毎月第2月曜日、年末年始	なし
西戸山生涯学習館	昭和41.12	百人町4-7-1	534.4㎡	5	毎月第2月曜日、年末年始	西戸山幼稚園

2 成果指標

利用率/88.0%(平成24年度実績:88.5%)

施設利用者数/280,000人(平成24年度実績:327,248人)

※平成26年1月31日に三栄町生涯学習館閉館

3 実施上の課題

(1)利用率の低い施設について、引き続き利用率アップのための工夫を行う。

(2)生涯学習館と財団が管理する他施設とのハード・ソフト両面にわたる機能連携を強化する。

(3)活動団体の高齢化、少人数化の支援のため、生涯学習・地域人材交流ネットワーク制度と連携した支援を実施する。

4 顧客満足度の向上方策

各館で利用者懇談会および利用者アンケートを開催し、利用者のニーズを的確に把握することにより、満足度向上のための諸策を実施する。

5 実績

(1)平成24年度 生涯学習館各館利用実績

館名	利用件数(件)	利用者数(人)	利用率(%)
三栄町	4,878	44,293	93.7
赤城	6,019	62,353	96.4
戸山	7,328	83,882	80.0
北新宿	5,037	58,688	80.6
住吉町	3,544	36,155	85.1
西戸山	4,503	41,877	86.5
合計	31,309	327,248	88.5

(2)平成23年度 生涯学習館各館利用実績

館名	利用件数(件)	利用者数(人)	利用率(%)
三栄町	4,342	37,996	87.1
赤城	5,552	52,150	92.6
戸山	6,738	80,842	83.5
北新宿	4,732	55,518	77.8
住吉町	3,278	30,351	81.4
西戸山	3,945	36,477	78.2
合計	28,587	293,334	83.6

6 対前年度予算増減説明

(1)三栄町生涯学習館の閉館に伴う減

(2)赤城生涯学習館工事休館の終了に伴う増

根拠法令	社会教育法、新宿区立生涯学習館条例	事業開始	平成20年度
------	-------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-12-(2)	
事業名	生涯学習館の運営 (2)指定管理事業			担 当 課	学習・スポーツ課
				変更内容	-
目 的	生涯学習館登録団体及び地域の生涯学習団体を支援し活性化を図るため、施設を有効活用した各種事業を展開する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	120	50	70	部	経常増減の部
自主財源	206	196	10	大科目	事業費
区指定管理料	6,153	6,506	△ 353	種別	指定管理事業
経常収益計	6,479	6,752	△ 273	(単位:千円)	
事業費	1,012	1,260	△ 248		
人件費	5,467	5,492	△ 25		
経常費用計	6,479	6,752	△ 273		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 生涯学習館まつり…各館2日間開催。利用団体で構成する実行委員会により、企画・運営を行う。
- (2) 生涯学習館登録団体のネットワーク化…活動団体のネットワークづくりを行う。財団が自主開発した、「新宿地域人材ネット」を活用した、登録団体情報の公開による団体同士の交流を促進する。
- (3) ギャラリーオーガード“みるっく”及び生涯学習館での作品展示支援
生涯学習館活動団体が館内で作品展示を行う際の支援と、みるっくへの展示を支援する。
- (4) ガーデニングクラブ協働事業…赤城生涯学習館で利用者によるコミュニティガーデンと施設緑化推進
- (5) 交流コーナー・サロンの設置…住吉町生涯学習館に既設のコーナーの充実

2 成果指標

- (1)生涯学習館まつり参加団体/200団体(平成24年度実績:255団体)※三栄町廃止による減:50団体
- (2)登録団体の「新宿地域人材ネット」を活用した会員募集実施件数を前年度より増やす。

3 実施上の課題

- (1)生涯学習館まつりにおいて、多くの団体が実行委員会に参画するよう、働きかける。
- (2)登録団体に「新宿地域人材ネット」の活用の呼びかけと周知強化を図る。

4 顧客満足度の向上方策

各館で利用者懇談会や利用者アンケートを実施し、利用者のニーズを的確に把握することにより、満足度向上のための諸策を実施する。

5 実績

- (1)生涯学習館まつりの参加団体及び来場者数

平成24年度

館名	開催日程	参加団体数(団体)	延来場者数(人)
三栄町	3/16(土)、17(日)	38	2,417
赤城	11/9(土)、10(日)	36	3,250
戸山	10/20(土)、21(日)	72	5,119
北新宿	10/20(土)、21(日)	31	1,504
住吉町	11/9(土)、10(日)	54	1,355
西戸山	3/30(土)、31(日)	24	1,363
合計		255	15,008

平成23年度

館名	開催日程	参加団体数(団体)	延来場者数(人)
三栄町	3/17(土)、18(日)	39	1,833
赤城	11/12(土)、13(日)	49	1,946
戸山	10/29(土)、30(日)	73	5,284
北新宿	10/29(土)、30(日)	27	1,440
住吉町	10/15(土)、16(日)	52	1,769
西戸山	3/24(土)、25(日)	35	1,982
合計		275	14,254

- (2)ガーデニングクラブ協働事業

平成24年度 ※平成24年度新規事業

活動回数 12回、参加人数26人、延参加人数230人

6 対前年度予算増減説明

- (1)三栄町生涯学習館の閉館に伴う減
- (2)赤城生涯学習館工事休館の終了に伴う増

根拠法令	社会教育法、新宿区立生涯学習館条例	事業開始	平成20年度
------	-------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-13	
事業名	ギャラリーオーガード“みるっく”の 管理運営			担 当 課	学習・スポーツ課
				変更内容	-
目 的	生涯学習活動を支援するために、区民の生涯学習の成果である作品を、年間を通じて発表できる場を提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	2,699	2,623	76	大科目	事業費
経常収益計	2,699	2,623	76	種別	受託事業
事業費	2,310	2,229	81	(単位:千円)	
人件費	389	394	△ 5		
経常費用計	2,699	2,623	76		

事業の計画

1 実施内容(予定)

新宿大ガードに、新都心に相応しい明るく美しい都市空間を提供することを目的として、区民等の文化芸術活動の成果である創作品の展示が可能なギャラリーの運営を行う。

【施設概要】

所在地 新宿区歌舞伎町1-30(新宿大ガード下)
 展示スペース 5ヵ所(西武新宿駅側、平面作品用)
 展示ボックス 10ヵ所(JR新宿駅側、平面・立体作品用)

2 成果指標

展示団体数/12団体(平成24年度実績:12団体)

3 実施上の課題

- (1) 良好な展示環境維持のための計画的な修繕を実施する。
- (2) 一般区民が気軽に利用できるような運営方法を工夫する。

4 顧客満足度の向上方策

より多くの区民がギャラリーを利用できるよう、貸出期間等の見直しを行う。

5 実績

平成24年度
 年間12回の展示期間に12団体が出展

6 対前年度予算増減説明

- (1) 照明のLED化による光熱水費の減
- (2) 経年劣化(小破修繕)対応に伴う修繕費の増

根拠法令	ギャラリーオーガード“みるっく”運営要綱	事業開始	平成12年度
------	----------------------	------	--------